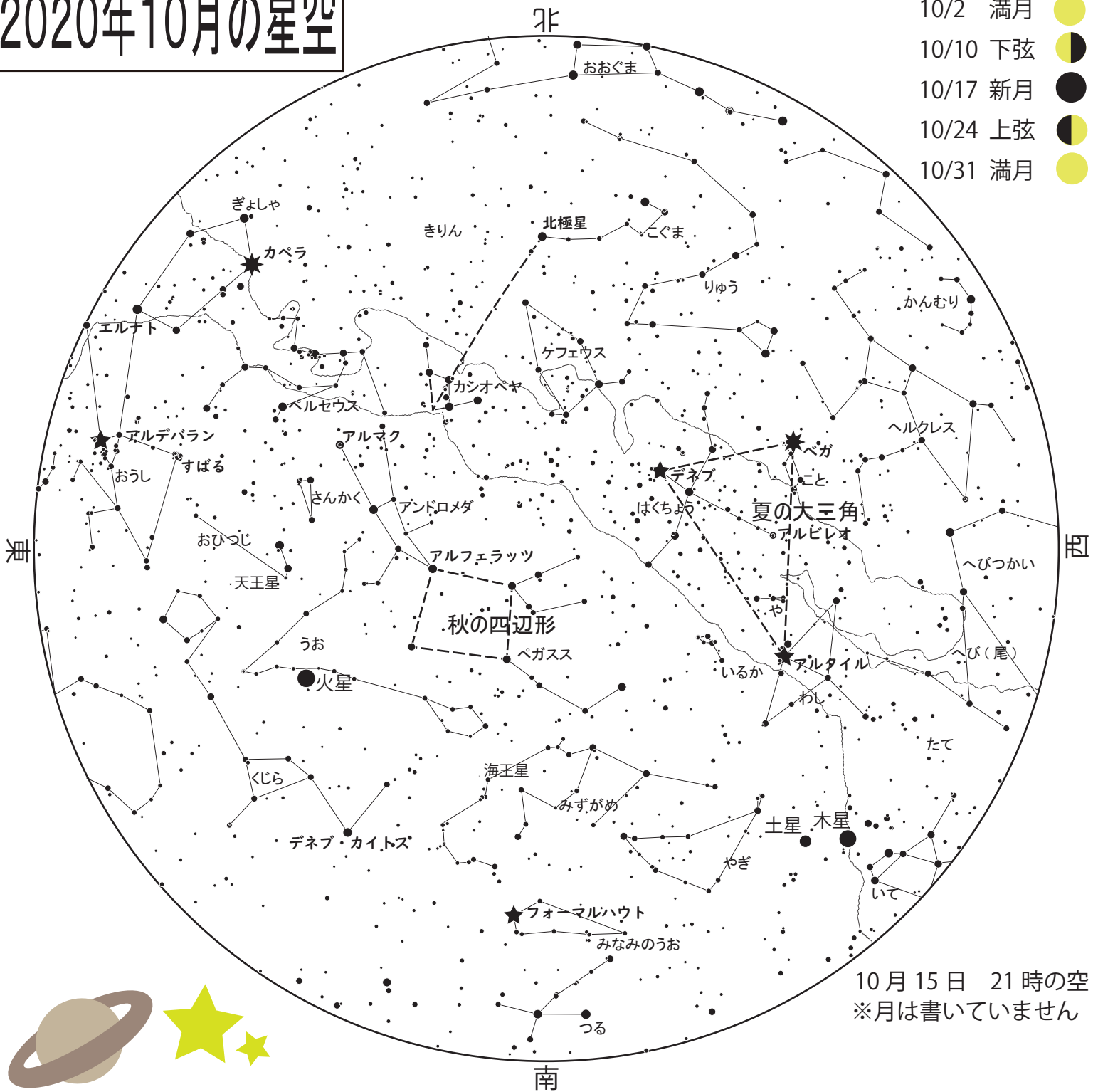


# 姫路で見る 2020年10月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 10/2 満月 
- 10/10 下弦 
- 10/17 新月 
- 10/24 上弦 
- 10/31 満月 



10月15日 21時の空  
※月は書いていません



今頃の一番星は明るく輝く木星。木星の隣には土星が見えていて、仲良く並んで西の空で輝いています。そして10月の主役はなんといっても東の空に赤く輝く明るい火星です。10月6日に約2年2ヶ月ぶりの最接近を迎えます。今回の火星は、以前の大接近の時よりも空の高い所に昇っています。次の火星大接近は15年後なので、今年を逃すと、次に明るい火星を見ることができるのは2035年になります。6日の最接近の後も、まだしばらくは火星は明るく輝いてよく見えるので、この機会にぜひ観察してみてください。

季節が移り変わり、夏の大三角は南西の空へ、秋の四辺形は南東の空へと移動しています。東の空の低い所には、冬の星座、おうし座の1等星アルデバランや、ぎょしゃ座の1等星カペラが見えていますよ。北東の空には、ローマ字の「M」、もしくは「W」の形の星の並びで有名な、カシオペア座が見えています。このカシオペア座から、北の方角の目印となる北極星を探することができます。まず、M字の両端から、それぞれまっすぐに線を伸ばし、ふたつの線が交わった所から、M字の谷になっている方向に直線を描きます。約5倍の長さの線を伸ばした先にある星が、北極星です。カシオペア座を見つけたときは、北極星もぜひ探してみてくださいね。